

関係機関長 殿

沖縄県病害虫防除技術センター所長
(公 印 省 略)

病害虫発生予察注意報について

平成 31 年度病害虫発生予察注意報第 3 号を公表したので送付します。

平成 31 年度 病 害 虫 発 生 予 察 注 意 報 第 3 号

- 1 作物名 さとうきび
- 2 害虫名 メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ)
- 3 発生地域 伊江島
- 4 注意報発令の根拠
 - (1) 伊江島における 1 月中旬の新植夏植えほ場での芯枯調査 (全 12 ほ場) の結果は、芯枯率 36.9% であった (表)。
 - (2) 伊江島における 1 月中旬の切開調査の結果、人当たり 5 分当たり幼虫数は 9.3 頭で、確認されたメイチュウ類幼虫の 75.7% がカンシャシクイハマキであった (表)。
- 5 発生生態および被害
 - (1) カンシャシクイハマキ (図 1)
 - a 沖縄では年 6 ~ 7 世代を重ね、周年発生する。
 - b 卵は葉や茎に 1 ~ 数卵ずつで産み付けられ、1 雌当たりの生涯産卵数は 200 ~ 500 卵に達する。
 - c 被害ほ場内に散在的に発生する。
- 6 防除上注意すべき事項
 - (1) ほ場および周辺の除草を徹底する。
 - (2) 発芽揃期から有効分けつ期の芯枯れを防止するため、食入初期の幼虫を対象に薬剤防除を行う。
 - (3) 乳剤の場合は、葉鞘内に薬液が浸透するように丁寧に散布する。粉剤の場合は、茎と葉元の間に散布し、降雨や散水等により溶解させ、葉鞘内部へ浸透させることで防除効果が高まる。
 - (4) 薬剤防除後、2 ~ 3 週間において再度防除を行うことで防除効果が高まる。
 - (5) 培土時には土壌害虫の防除を兼ねた薬剤 (粒剤) を選択し施用する。
 - (6) 被害の多い地域では薬剤による一斉防除を行う。

表 1 月調査結果 芯枯率と切開調査による幼虫数率およびカンシャシクイハマキの割合

地域名	芯枯率 (%)	幼虫数/人/5 分	カンシャシクイハマキの割合 (%)
沖縄本島	7.4	13	86.5
伊江島	36.9	9.3	75.7



図1 カンシャシンクイハマキの幼虫



図2 被害ほ場の様子

★詳しくは沖縄県病害虫防除技術センターにお問い合わせ下さい★

TEL : (本所) 098-886-3880、(宮古駐在) 0980-73-2634、(八重山駐在) 0908-82-4933

ホームページアドレス : <http://www.pref.okinawa.jp/site/norin/byogaichuboj/index.html>